

平成25年度
第1回うるま市補助金審査委員会における意見、評価のまとめ

日 時 平成25年8月14日（水）午後2時～午後5時20分

場 所 本庁 4階第1委員会室

出席委員 照屋寛之、伊波洋、福原徹、仲地一、親泊正吉、渡久地博之、長浜豊、川本芳春、園崎香代子、我喜屋賢、池原トモ子、川野悦子、平安山香代子（計13名）

事務局員 重島室長、瑞慶山係長、嶺井、上江洲、名嘉眞

担当課 企業立地雇用推進課 佐久川課長、仲村渠係長、豊見本
商工観光課 平良課長、座喜味係長、目取真係長

うるま市グッジョブ連携協議会負担金【企業立地雇用推進課】……………

「うるま市グッジョブ連携協議会負担金」の評価のまとめ

総合評価

A：さらに充実させる方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

学校や企業と連携をとり、子どもたちの将来に向けたキャリア教育に関する事業をさらに充実させる必要がある。失業率の低下につなげていくため、国の補助事業を活用しながら、継続していただきたい。

子どもたちの仕事に対する就業意識づくり、将来の夢を持つきっかけづくりが目的ならば、子どもたちにとって身近なことから体験する手法に特化して取り組むことも重要だと考える。

さらに充実した雇用対策に努力していただきたい。

うるま市シルバー人材センター運営補助金【企業立地雇用推進課】・・・・・・・・

「うるま市シルバー人材センター運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

高齢者の働く場を確保する事業に対し、高く評価している。しかし、センターの資金規模や経営状況は安定しており、長期にわたり補助金交付を続けることは市民に理解が得られない。

各組織や団体の収支に応じて資金運用が図られるものであるが、シルバー会員と職員の待遇の差が大きいことに不満の声があるようだ。

自主・自立の運営を目指すために、3年を目途に補助金を廃止すべきである。

うるま市観光物産協会補助金【商工観光課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市観光物産協会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

将来的には市の方針も考慮しながら、コストの効率化・削減の方向で見直していただきたい。

また、自主財源確保のため、うるま市の世界遺産「勝連城跡」や物産品等を様々な視点から上手く活用が図れるよう、担当部署は指導・連携を強化していただきたい。

うるま市商工会補助金【商工観光課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市商工会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

市や県からの補助金がどのような運営費や事業費に充てられているのか分かりにくく、改善を図る必要がある。

また、商工会の会員になるメリットが実感できないのではないかと、結果的に会員組織率が伸び悩んでいることから、会員のニーズを見通し、会員のためになる効果的な事業展開を図ることが重要だと考える。

今後は、さらなる自立運営を目指すためにも、商工会議所の設立や組織改革の指導・助言を図っていただきたい。

うるま市プレミアム商品券振興補助金【商工観光課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市プレミアム商品券振興補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

特定の方のみが恩恵を受けることなく、広く市民が恩恵を受けられるよう、担当部署はしっかりと連携し、広報や配布の方法を工夫していただきたい。

他の施策・事業との連携や新しいアイデアの商品券活用なども検討していただきたい。

商品券の有効期間でどの程度の経済効果があったのか、数値にして表さないとわかりにくいため、次年度は効果が見えるように改善していただきたい。